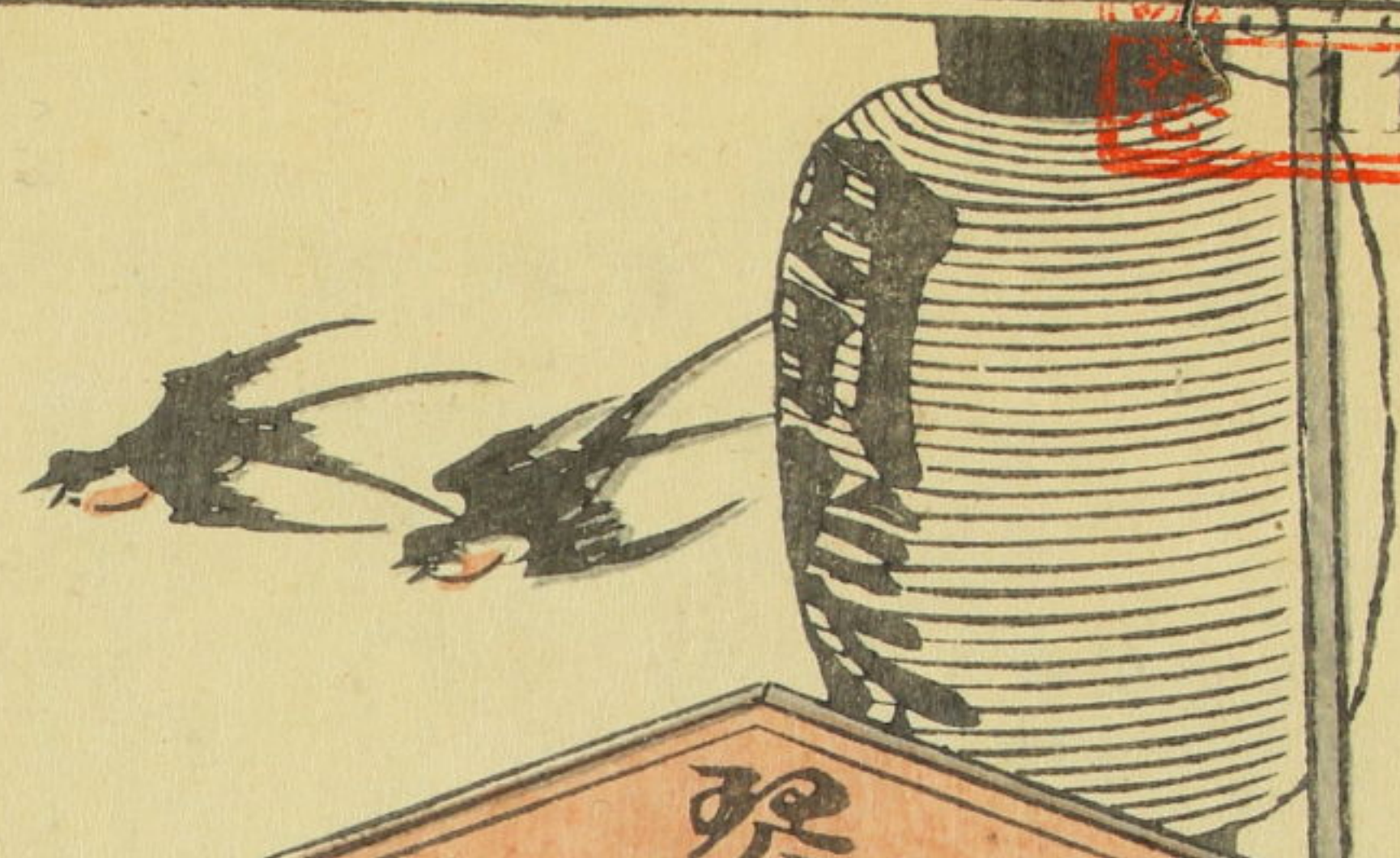


明へ13  
号 3752  
1



京山佐  
西々画  
琴声美人録  
於四編上  
喜鶴堂筆



一 吟

琴声美人録 琴れ緒の十三小做ひて  
去年十三編の弦を音しけらふ  
すこく世小響たりとく書肆  
喜鶴堂猶十一の編を乞ふ  
秋上群を夏よりの  
督促らちもわらわぎ  
筆と採る  
汗も老らふ  
眼鏡と池色文と下ぎ  
青蠅硯ふ集く暑ハ  
人ふまをりころ八十八の老の身老らふ



美人録 一四

尾八

姫君  
侍上  
尾上女



千八集  
京山

美人集十四

て飯おたく玉勃か匹中もあら  
ごまの棄て捨ん筆る多  
東店西舗も編を嗣書賈  
の催促いあまのさつてあ  
北窓小涼風をまちて  
筆を採りぬ

憐その入内この  
あつへけしど心小織  
て袖をとり筆小耕

細字の  
子養ふ  
族もあき事

○あつ小あしる人物ハ  
十五編ふその傳を  
記さる

○琴の  
名家  
和哥の  
達者  
玉瀬  
校

○鎌倉  
松葉谷  
常盤木家  
の娘君  
千歳  
姫



玉井戸の  
きよよ

二段 玉井戸の  
きよよのきよ

ありけり  
あつちや  
あつちや

いそつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや



あつちや  
あつちや  
あつちや

あつちや



二段目の  
仲どお  
各のま

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや

あつちや  
あつちや



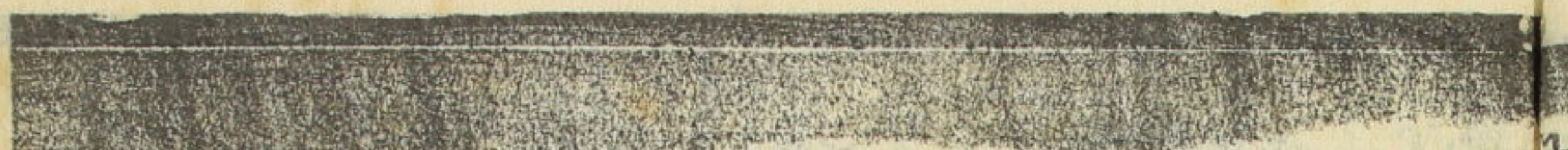


三つにわかれしそなたは... 幸ひもあらうなり... かくしては... かくしては...



五反

あつちから... かくしては... かくしては... かくしては... かくしては... かくしては... かくしては... かくしては...











安政三年丙辰夏

京山作

國郷画

びん多く赤へんをり

つき神ありあまも

たのみのそま

あつるあま

あつるあま

あつるあま

あつるあま

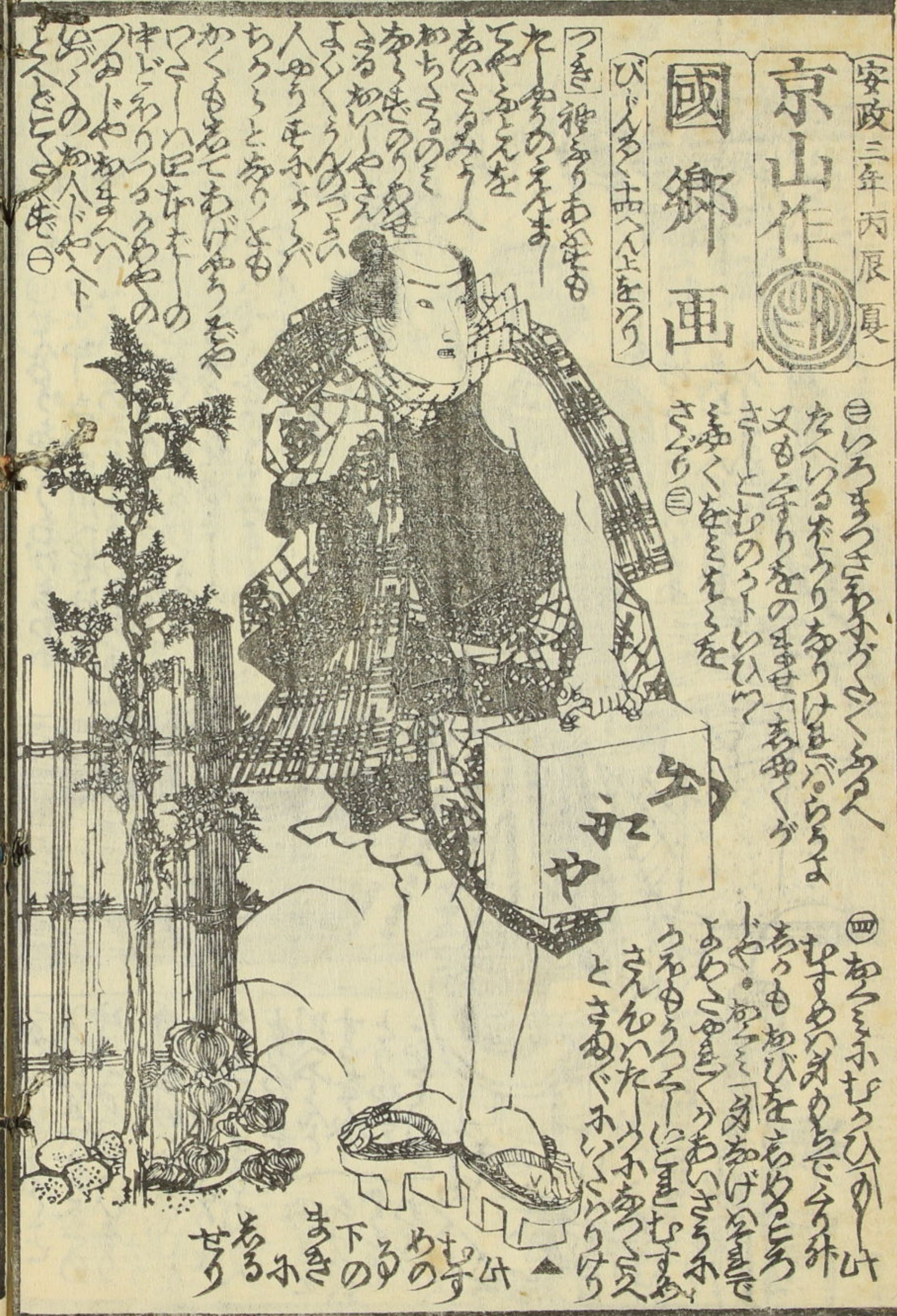
あつるあま

あつるあま

あつるあま

あつるあま

あつるあま



目いろまろくちあまのくちあま  
 なへるあまのくちあまのくちあま  
 又もあまのくちあまのくちあま  
 さしあまのくちあまのくちあま  
 さあまのくちあまのくちあま

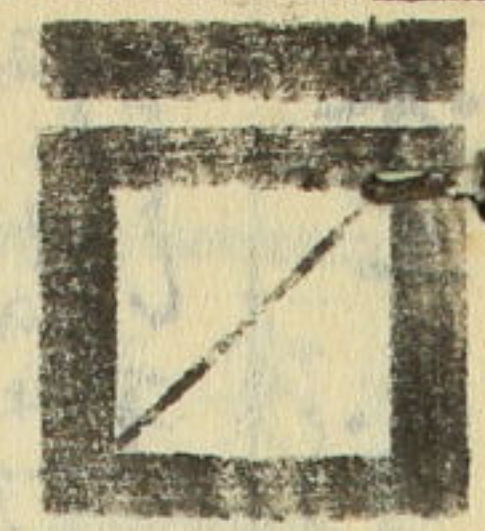
④あまのくちあまのくちあま  
 あまのくちあまのくちあま  
 あまのくちあまのくちあま  
 あまのくちあまのくちあま  
 あまのくちあまのくちあま  
 あまのくちあまのくちあま

下のあまのくちあま  
 あまのくちあまのくちあま  
 あまのくちあまのくちあま  
 あまのくちあまのくちあま  
 あまのくちあまのくちあま

# 諸合薬

# 紀伊國屋丸兵衛

江戸大田通宇田川町西側中程



御薬種丸散丹圓諸合薬精製吟味別而念入申候

其外可薬最上極品貯且定價廉直也

牛黄丸 大人小児万病急症を救ふ至聖薬也

家傳救命丸 大人小児万病急症を救ふ至聖薬也

保嬰散 小児万病急症を救ふ至聖薬也

中... 小児万病急症を救ふ至聖薬也

書目録

中暑和中飲霍乱暑病

加正散以務菊四葉の汁

法系友何は新久安も

一粒丸大人小児

御白体法入の御香

即如御香

御量物御香

不淨除漬火鉢

靈符御香

香除神丹神丹

旅行懐中御用意意未

御香木古伽羅

塗香御香

# 松源實むらさね

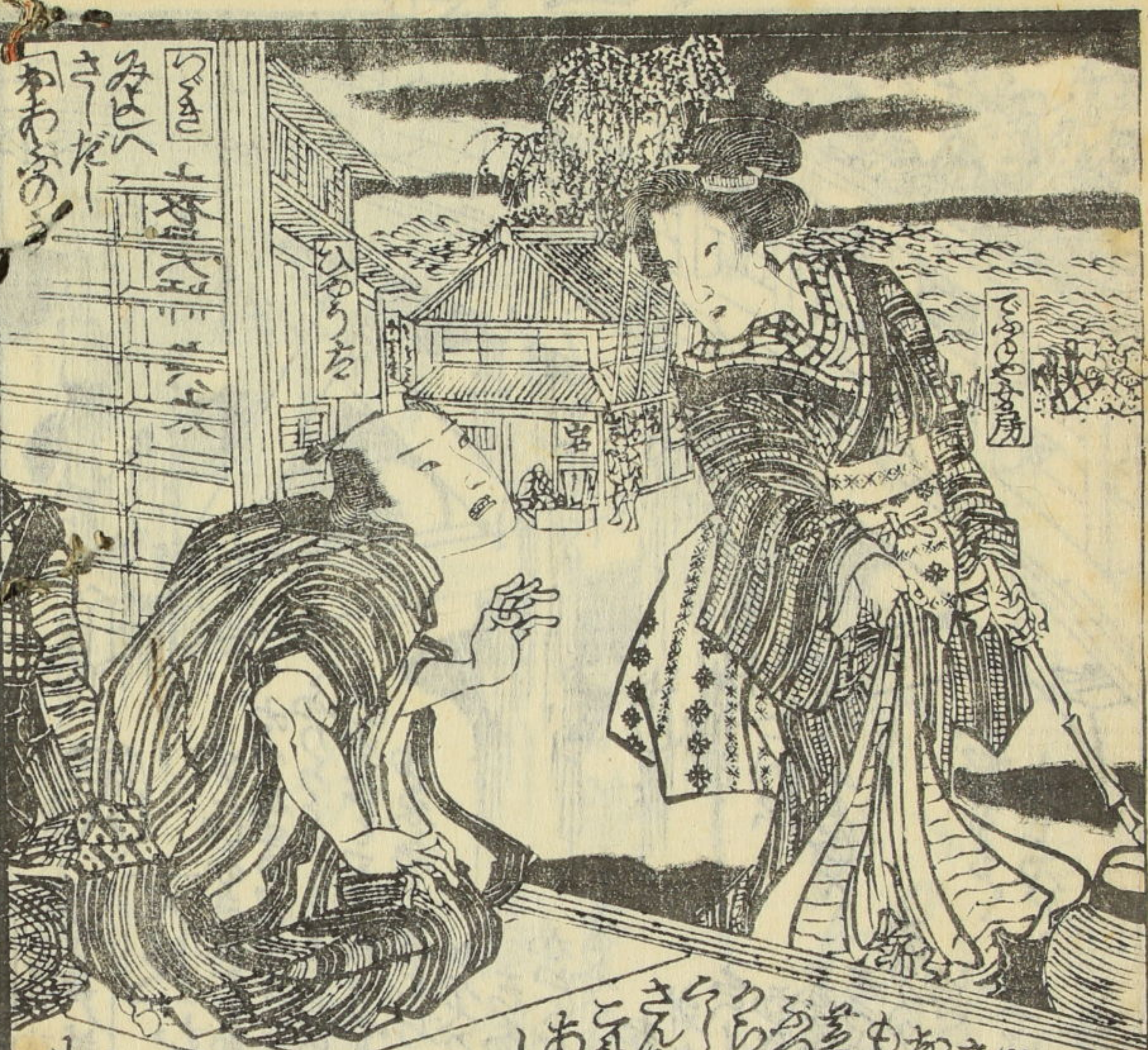
自九編至十四編 笠亭仙果作 當辰正月發兌 歌川國貞画

## 安政四年丁巳春新刊目録

九編 惟規少將再度中將 軒計小階 之奥手妙小其竟之故 齋院御  
 櫻の行啓小天変有正名 説もち擧げられ 中將鳴高罪不伏す 惟規住吉へ  
 御使小立三島江口小遊女香やふ値遇 宝の笛と失入 善居の事 十編 同人  
 密西北越山本 紫式部めづあひて 歌の由来の宣 紫丹生  
 候の時胤村の狼藉 避く六田の茅屋小田熟の婦と子小再會 帰冷の後 復  
 宇佐赴 十編 六田の抜手見娘 如やう野洲子病 身中か 鳴見姉の仇と復  
 さんす 紫式部一女子と産む後大貳三位賢子是なり 此巻法皇ふつたの語  
 かく書収む 十二編 惟規北国流浪あられると多 紫式部寡婦みちり上東  
 門院小宮仕の顛末 十三編 式部父女の忠貞 中々ふ記 御堂殿小野宮殿  
 の栄花と賢大と申し出と花あり 實はり 御高評を希い  
 花兄弟陸奥名所 同作國芳画 芝神明前 喜鶴堂敬白







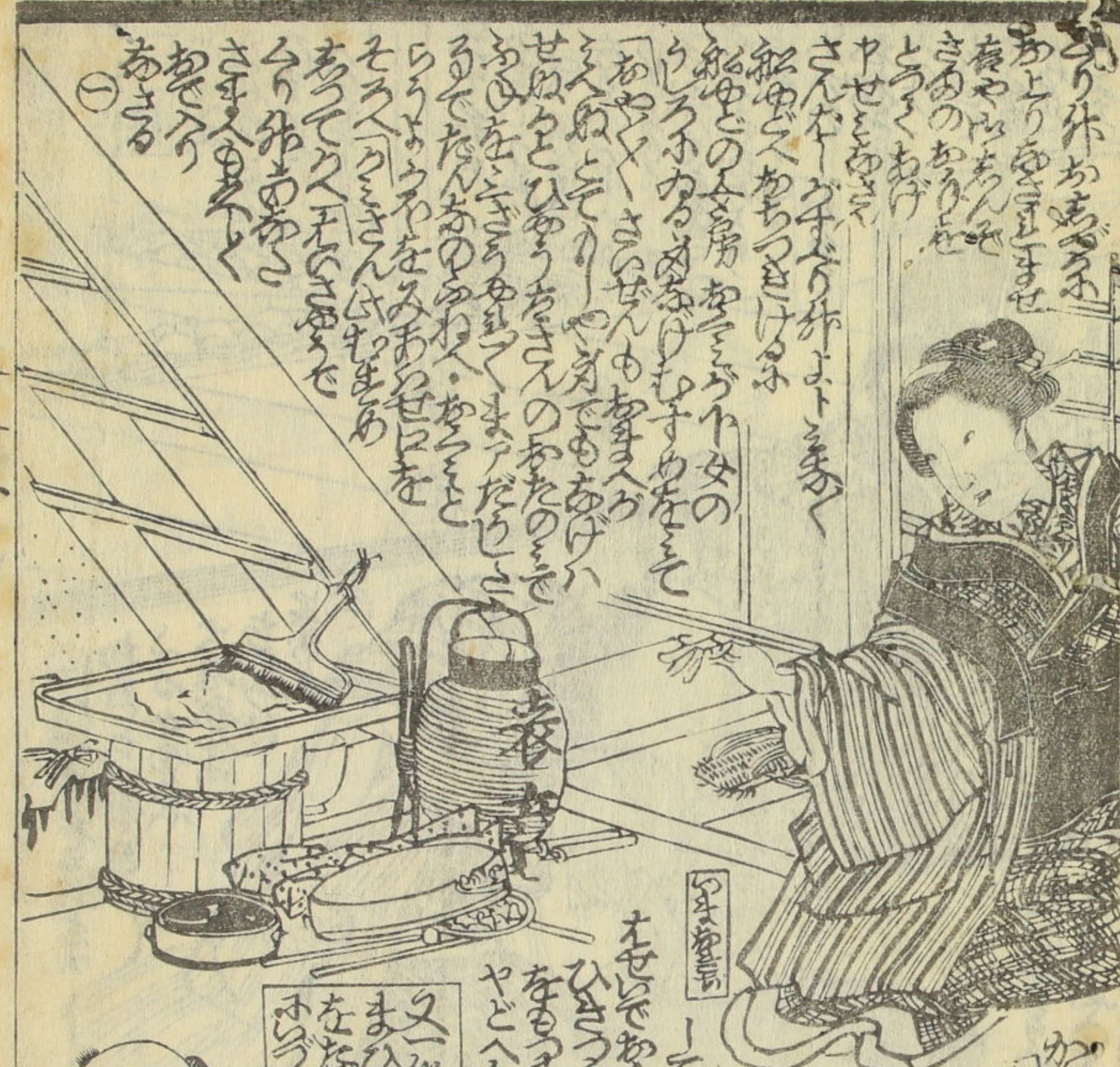
ひやうを  
おあつたの  
みはへ  
さうだ  
おあつたの

ひやうを



おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの

おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの



おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの



おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの

おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの  
おあつたの



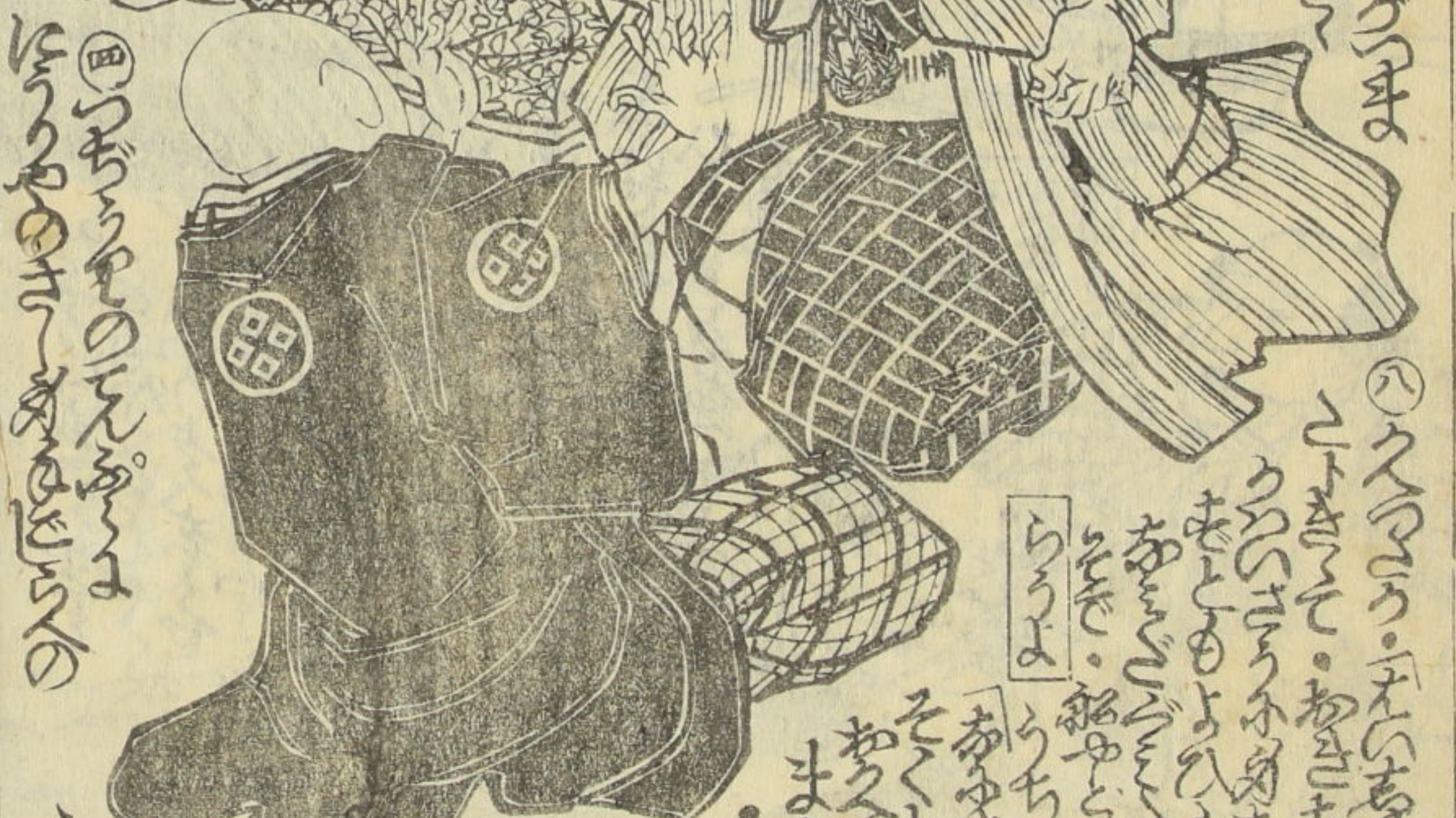
あてを  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて



あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて

土服  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて

あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて



あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて  
あつて



十二段 女房足ありて



十二段 女房足ありて

十二段 女房足ありて... (Vertical text columns on the bottom left page)

十二段 女房足ありて... (Vertical text columns on the bottom right page)



ついでに... きたりもあつた... けしきもあつた... けしきもあつた... けしきもあつた...

⑤いぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ...



十二段... けしきもあつた... けしきもあつた... けしきもあつた... けしきもあつた...

④いぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ... ちかぢ...





ついでに...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...

十五夜

さき...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...



①...  
②...  
③...  
④...  
⑤...  
⑥...  
⑦...  
⑧...  
⑨...  
⑩...

馬...  
馬...  
馬...  
馬...  
馬...  
馬...  
馬...  
馬...  
馬...  
馬...

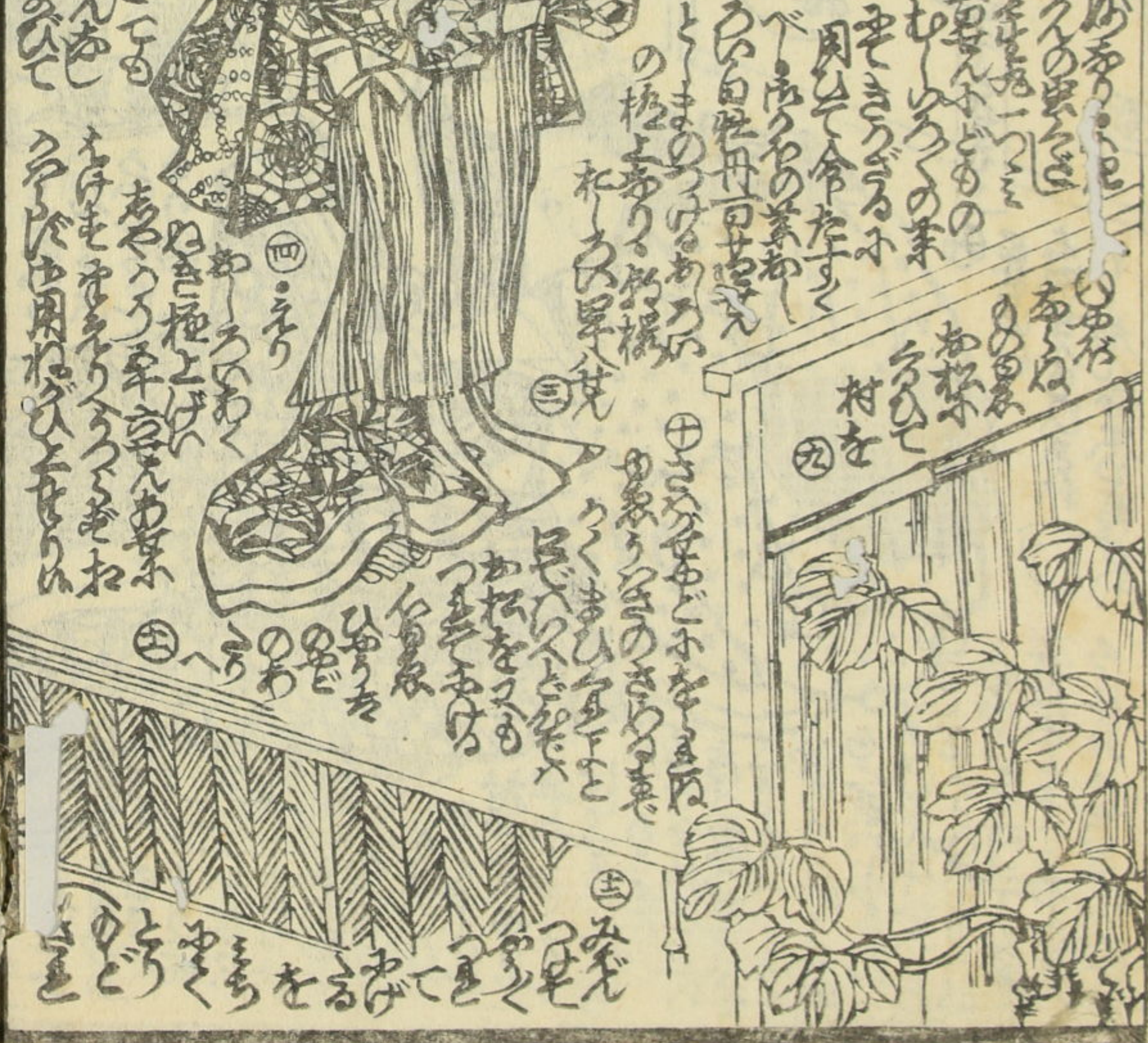
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...



おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...  
おねがひ...

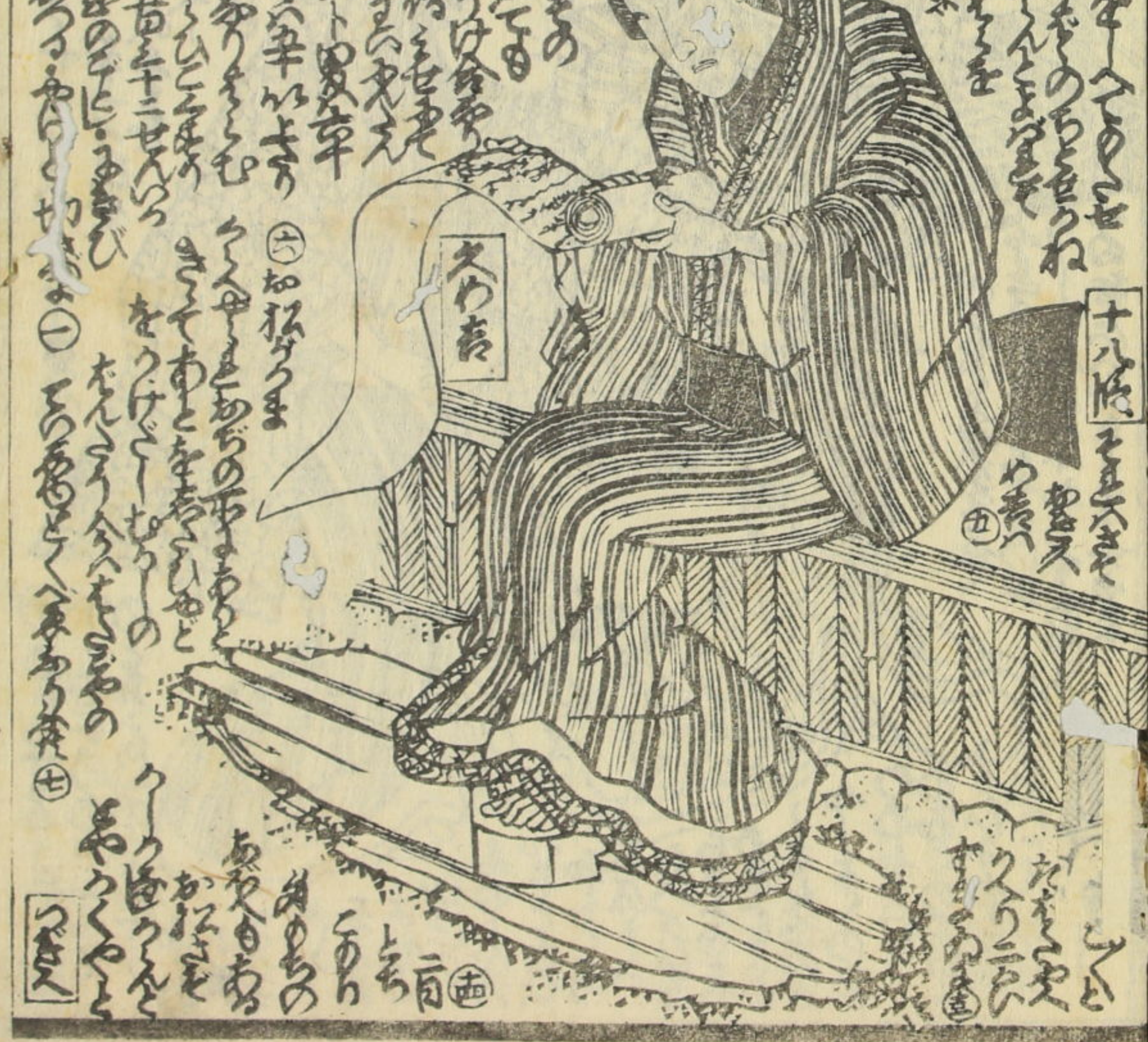
① 美人の姿  
 ② 美人の容  
 ③ 美人の衣  
 ④ 美人の髪  
 ⑤ 美人の履  
 ⑥ 美人の帯  
 ⑦ 美人の扇  
 ⑧ 美人の籠  
 ⑨ 美人の籠  
 ⑩ 美人の籠

十七日 美人の姿  
 美人の容  
 美人の衣  
 美人の髪  
 美人の履  
 美人の帯  
 美人の扇  
 美人の籠  
 美人の籠  
 美人の籠



⑪ 美人の籠  
 ⑫ 美人の籠  
 ⑬ 美人の籠  
 ⑭ 美人の籠  
 ⑮ 美人の籠  
 ⑯ 美人の籠  
 ⑰ 美人の籠  
 ⑱ 美人の籠  
 ⑲ 美人の籠  
 ⑳ 美人の籠

十八日 美人の姿  
 美人の容  
 美人の衣  
 美人の髪  
 美人の履  
 美人の帯  
 美人の扇  
 美人の籠  
 美人の籠  
 美人の籠



⑳ 美人の籠  
 ㉑ 美人の籠  
 ㉒ 美人の籠  
 ㉓ 美人の籠  
 ㉔ 美人の籠  
 ㉕ 美人の籠  
 ㉖ 美人の籠  
 ㉗ 美人の籠  
 ㉘ 美人の籠  
 ㉙ 美人の籠  
 ㉚ 美人の籠





安政四年巳年孟春新鑄目錄

娘庭訓金鷄

山東庵京山作  
梅蝶樓國貞画

総次郎琴聲美人録

立川齋國郷画  
十四編  
十五編  
十六編

夢想兵衛勘界枕

笠亭仙果作  
一勇齋國芳画

新增補西國奇談

為詠春水作  
歌川國貞画

吉七松梅竹取物語

樂亭西馬作  
歌川國貞画

根源實紫

笠亭仙果作  
歌川國貞画

花兄弟陸奥名所

同  
初編  
画

東都地本繪草紙團扇問屋  
芝神明前三島町角  
村佐野屋喜兵衛板

琴聲美人録十四編終

國郷画



ついでに... 安政三年... 京山作

安政三年... 京山作... 稿成十八歳

